

# パナソニックにおける プラスチック循環の取り組み

2020年 6月 23日

パナソニック株式会社

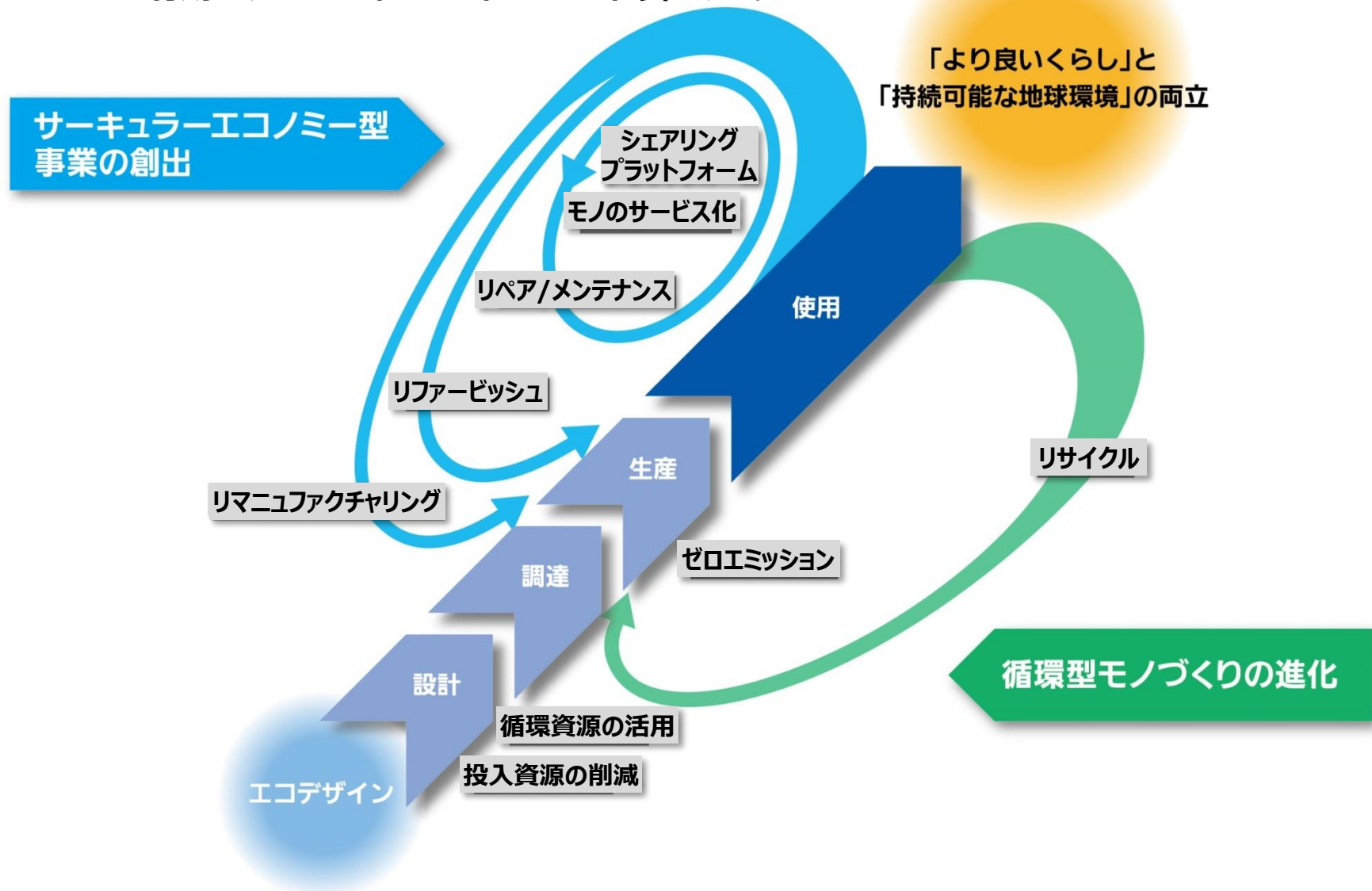
品質・環境本部 環境経営推進部

サーキュラーエコノミーユニット

石橋 健作

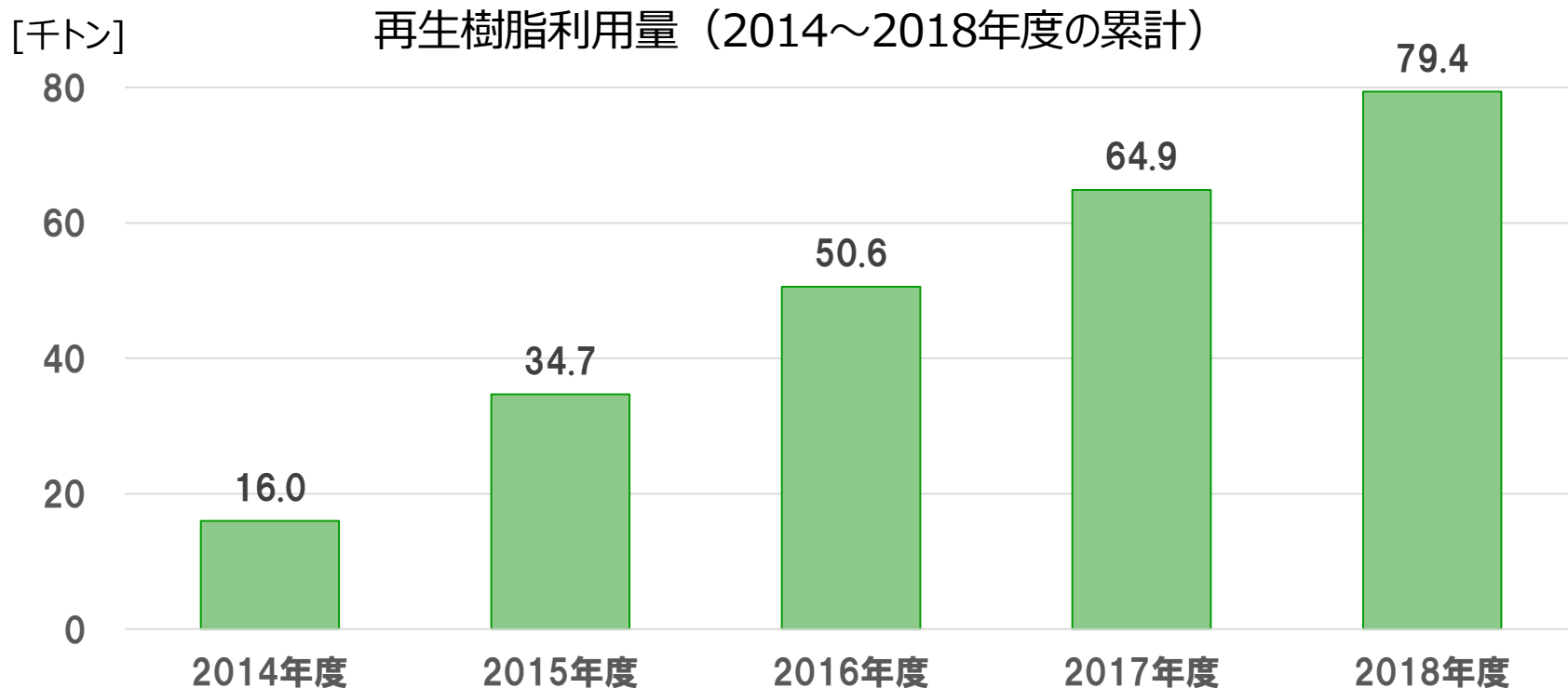
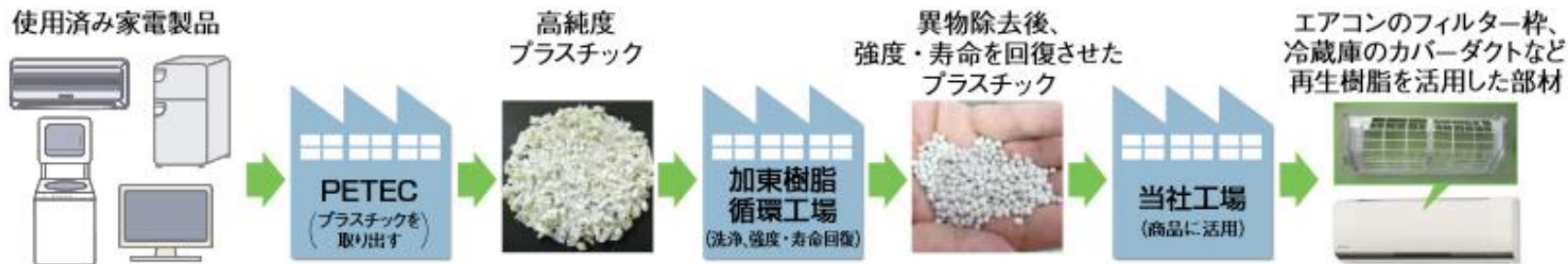
# パナソニックのサーキュラーエコノミー取り組みのコンセプト

循環型モノづくりの進化とサーキュラーエコノミー型事業の創出により  
資源の有効活用と顧客価値の最大化に取り組めます



# プラスチック(樹脂)循環のこれまでの実績

## 選別および使いこなし技術を進化させ、再生樹脂の活用範囲を拡大



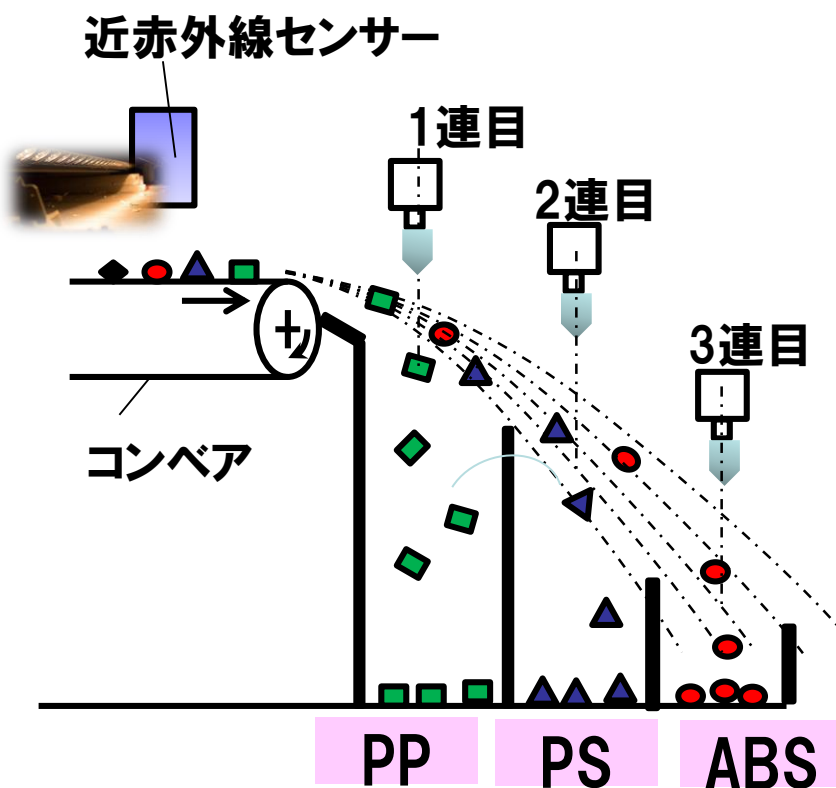
# 選別技術と機能・寿命回復技術

3種の樹脂を独自技術で同時選別

- (1) 吸収スペクトルで PP/PS/ABSを識別
- (2) 樹脂を選択的に吹き落とす

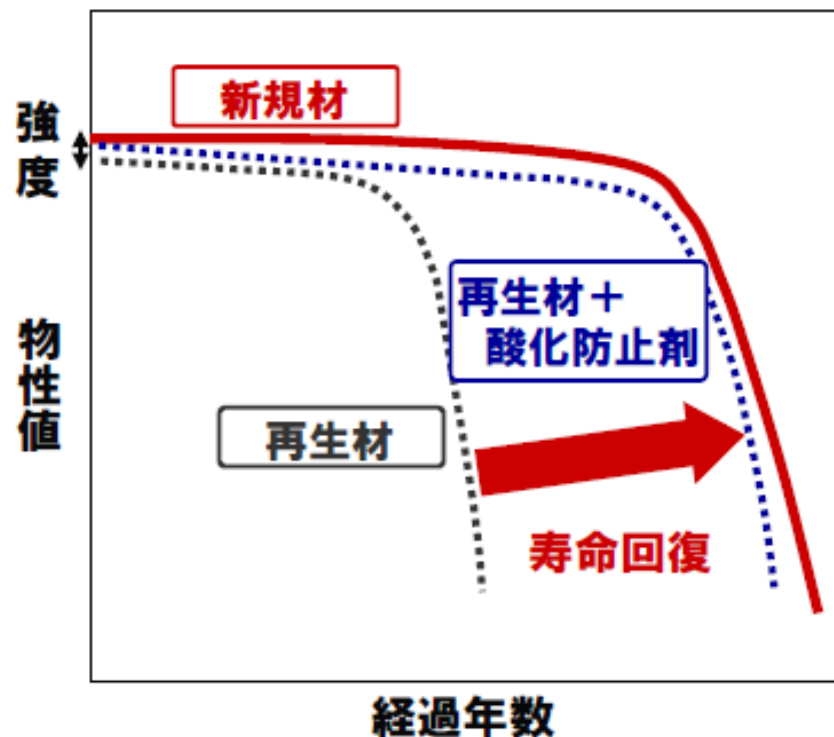
→ 純度99%以上

## 吹き分け



製品の部位・部材が求める特性と  
個々の再生材の特徴を見極め、  
新規材に匹敵する物性と  
寿命を実現

## PP樹脂の寿命曲線



# プラスチック(樹脂)使用量削減の取り組み事例

## 植物由来のセルロースファイバーを添加した複合樹脂を開発

### ■ 製品への展開事例

#### コードレススティック掃除機 パワーコードレス (2018年8月発売)



軽さと強度を両立させながら、  
樹脂の使用量も削減

### ■ 技術開発

高濃度セルロースファイバー成形材料  
(2019年7月発表)



セルロースを55%以上の高濃度で配合



アサヒビール（株）と共同で、  
環境配慮型リユースカップの展開を開始

## 社内外の共創により3つの“循環”を拡大

➔ プラスチックを含む 資源 に対する 顧客の使用価値の最大化 を実現

### “製品”の循環

- ・ UX x DXとの融合モデルの確立
- ・ ライフサイクルコスト・価値の可視化

### “部品”の循環

- ・ 解体に適した製品設計
- ・ 解体・再生産技術の開発

### “材料”の循環

- ・ 循環材SCMのQMS強化
- ・ 循環材の顧客価値創出

